**山梨県小中学校体育連盟　柔道専門部　新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン**

令和２年７月１４日

令和３年６月８日改定

令和３年１０月１４日改定

令和４年５月１２日改定

山梨県小中学校体育連盟柔道専門部

**Ⅰ　基本方針**

**参加する選手，監督，大会役員等，大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項と考え，公益財団法人全日本柔道連盟が作成した「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」を遵守し，対策を十分に講じたうえで大会を開催する。なお，大会開催可否の判断については，関係機関と協議のうえ，判断する。**

**なお，本ガイドラインは，現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により，適宜見直すことがあり得ることにご留意ください。**

**Ⅱ　大会前後の留意事項及び大会への参加制限について**

大会前の留意事項

・手洗いや消毒の励行，練習相手の限定，練習場所の換気や消毒など，感染防止に最大限努めること。

・選手,引率者等は,感染のリスクを避けて行動すること。

・各校の責任において選手の健康管理を充分に行い，健康状態に問題が無いことを確認した上で大会に参加すること。

・各校引率責任者は，無観客での実施になる場合は保護者は入場できないことを事前に伝えておく。また，大会当日途中で体調が悪くなった場合は，保護者に迎えに来てもらうことも伝えておく。

・各校引率責任者は，大会までに各チームで使用する体温計，手指消毒液を用意し，当日会場に持参する。また各選手にマスクを保管する袋，使用後のティッシュやマスクを入れ持ち帰る袋などを用意させ，当日会場へ持参させる。

大会への参加制限

**２週間前～受付まで**

（１）新型コロナウイルスに感染した者の濃厚接触者と判断された場合，大会への参加を認めない。

（２）受付前の２週間のうちに，政府から入国制限，入国後の観察期間を必要とされている国，地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合，大会への参加を認めない。

（３）部内において，一人でも新型コロナウイルスの感染者がいる場合大会への参加を認めない。

（４）部内において，一人でも濃厚接触者がおり，その者の感染が否定できない場合（ＰＣＲ検査での陰性が証明できない，など）大会への参加を認めない。

　※　発熱の基準は，３７.０度以上とする。ただし，平熱が３７.０度前後の場合は，＋０.５度までは参加を認める。平熱は，直前２週間の平均とする。

　※　（３）（４）においては，男女別で活動している学校等は，その限りではない。

　※　時間差での分散受付とする。

**入場に関わる提出書類について**

　①参加同意書（各支部の支部長を通して大会本部へ提出すること）

　②直前２週間（当日分も含む）の健康記録表（様式は各校のものでよい）

※②については本部に提出を求められた場合速やかに提出できるよう準備し，大会期間中も継続して記録を残すこと。

**受付後**

（５）受付後に新型コロナウイルスの感染が確認された選手や引率者等，濃厚接触者であることが確認された選手や引率者は大会への参加を認めない。また，風邪の症状（例：発熱・咳・咽頭痛など）がある選手や引率者等の大会への参加については認めない場合がある。

（６）受付後に新型コロナウイルスの感染が確認された選手や引率者等，濃厚接触者であることが確認された選手や引率者等の該当者がいる所属校の選手全員のその後の大会への参加は認めない。

（７）感染予防処置を遵守できない者は，他の参加者の安全を確保するために参加取消や途中退場を求めることがある。（入場に関わる提出書類の虚偽記載，マスク着用・手洗いや消毒の指示に従わない，大声を出す，身体間距離を確保しない，飲食時の感染予防を行わない等）

大会後の留意事項

（８）大会参加後２週間において，その期間内に新型コロナウイルス感染が確認された場合は，大会実行委員会に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。また，濃厚接触者特定のために健康記録表が必要となるため，大会終了後も１か月程度保管しておく。

**Ⅲ　大会運営における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策**

（１）すべての関係者に対し，常時マスクの着用を義務づける。ただし，試合を行う選手については

これを除外する。（試合時のみ）

（２）すべての関係者に対し，会場入場時の手指消毒を義務づけるとともに，会場内においても適宜手指の消毒を求める。

（３）定期的に試合会場・練習会場の畳の消毒を行う。

（４）身体的距離を確保しての会場配置や待機場所の設置，参加者の動線等について，感染防止に配慮した対策を講じる。

（５）ベンチからの大声での指示や声援は禁止する。

（６）会場の更衣室は極力使用しない。

（７）試合中も，換気設備を常時稼働するとともに，必要に応じてドアを開放する。

（８）選手，引率責任者，外部指導者以外は試合場に入らない。

　　　団体戦，個人戦の入場については大会申し合わせで確認する。

（９）団体戦では，試合待機中の位置取り（選手間は１～２ｍ）に注意する。

（１０）必ず自分のタオルを用意し，共用しない。

（１１）水分補給は認めるが，回し飲みは厳禁とする。

（１２）試合後は，必ず手洗いもしくは消毒液による手指消毒をする。

　　　※試合終了後については，各校で準備した消毒液等で手指消毒を行ってください。

（１３）審判員控え席については，十分に間隔を開けて設置する。

（１４）観客については基本無観客開催とする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （以上）